

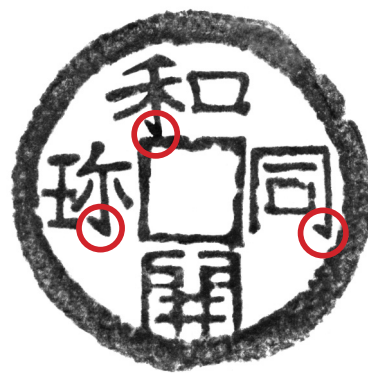


跳和同 (三ッ跳)



長岡京跡から出土する銭貨は、和同開珎（初鑄 708 年）、萬年通寶（同 760 年）、神功開寶（同 765 年）の三種の銅銭です。その比率は、順に 17%、21%、62%です。^{はねおどろ}跳和同は、ほかの和同開珎と字形が異なり、3 文字の下端を左上にはねた三ッ跳（○印）と、4 文字の下端を跳ねた四ッ跳があります。

跳和同は、長岡京から 7 枚、平安京と橿原市、白山市、金沢市の遺跡から各 1 枚出土しているほか、琵琶湖の沖島引揚げ銭の中から 6 枚確認されています。近年の研究では、跳和同が鑄造された時期は長岡京期の前後（8 世紀末）と考えられています。



長岡京跡左京第 564 次調査から出土した三ッ跳和同

※○部分が跳ねている箇所



出土した時のようす



六条大路の北側溝から見つかりました



長岡京市埋蔵文化財センター設立 40 周年記念事業・2022 缶バッジプレゼント企画

